

台湾中学生と英語交流

緑丘高生、オンラインで

伊達緑丘高校（須藤克志校長、213人）で22日、台湾桃園市青溪国民中学校の生徒と英語で交流する日台交流事業が行われた。同校の小林素羅教諭が留学していた英ロンドン大学で一緒に学んだ留学生が同中学校で教員をしていることから初めて取り組んだ。緑丘からは英検準2級以上の希望者9人が出席。台湾からは生徒約30人が、5グループに分かれてテレビ会議システムで通信。自己紹介し、家族や好きなスポーツ、食べ物などを話題に会話を楽しんだ。

緊張していた高校生も次第に慣れ、笑い声も飛び交っていた。この交流事業は11月12日まで、合計3回実施する。（佐藤重理）

伊達



テレビ会議システムを使い台湾の中学生と交流する緑丘高校の生徒